（別記）

令和８年度本別町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、十勝の東北部に位置し、十勝川支流、利別川沿いに広がる肥沃な土地に恵まれ、良質な豆を特産品とした畑作と酪農が調和した農業を展開している。
近年は、農家の高齢化が進み、農家戸数の減少がみられるため、担い手の確保が重要となっている。また、麦・大豆については、天候不順による単収低下や年次による変動が顕著となっている。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

輪作計画に基づいた輪作体系を基本としつつ、排水対策や土壌分析の実施による適正な施肥管理等により、収量、品質の向上による収益力向上を図る。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

近年においては水稲の作付がなく、現状では作付を行う予定がないことから、令和８年度までに畑地化の検討を進めていく計画であったが、土地所有者との調整などができず、畑地化には至らなかった。今後も生産者等との協議をしたうえで、地域の将来像や生産者の経営計画に対する効率的な土地の利用について検討していく。

４　作物ごとの取組方針等

適地適作を基本とし、産地交付金を有効に活用しながら作物生産の維持・拡大を図る。

（１）主食用米
作付なし

（２）備蓄米
作付けなし

（３）非主食用米
作付なし
ア　飼料用米
イ　米粉用米
ウ　新市場開拓用米
エ　WCS 用稲
オ　加工用米

（４）麦、大豆、飼料作物
輪作計画に基づいた輪作体系を確立しつつ、排水対策や団地化を継続して高品質生産を目標に基幹作物振興に努めていく。また、離農や労働力不足による不作付地の発生を防ぐため、担い手への農地集積を図り、作付面積の維持に努める。

（５）そば、なたね
作付なし

（６）地力増進作物

作付なし

（７）高収益作物

輪作計画に基づいた輪作体系を確立しつつ、排水対策や団地化を継続して高品　質生産を目標に基幹作物振興に努めていく。また、離農や労働力不足による不作付地の発生を防ぐため、担い手への農地集積を図り、作付面積の維持に努める。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米						
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦	11.95		11.00			
大豆	0.40		12.45			
飼料作物	24.23		24.23			
・子実用とうもろこし	3.61		0.00			
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	1.17		1.91			
・野菜	1.17		1.91			
・花き・花木						
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他	14.53		6.80			
・菜豆	1.98		1.00			
・てん菜	5.94		5.80			
・澱粉原料用馬鈴しょ	0.00		0.00			
・小豆	6.61		0.00			
畑地化					56.39	

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	麦、大豆類（黒大豆含む）	収量向上支援	作付面積 土壌分析実施面積 小麦収量 大豆収量	（令和７年度） 作付面積 1,235a 土壌分析実施面積 1,235a 小麦収量 620kg/10a 大豆収量 311kg/10a	（令和８年度） 作付面積 2,006a 土壌分析実施面積 2,006a 小麦収量 615kg/10a 大豆収量 265kg/10a
2	飼料作物（飼料用米、ＷＣＳ用稲を除く）	飼料作物作付支援	飼料作物作付面積 湿害対策実施面積	（令和７年度） 飼料作物作付面積 2,784a 湿害対策実施面積 2,784a	（令和８年度） 飼料作物作付面積 2,613a 湿害対策実施面積 2,613a
3	菜豆類	収量向上支援	作付面積 土壌分析実施面積 菜豆収量	（令和７年度） 作付面積 198a 土壌分析実施面積 198a 菜豆収量 138kg/10a	（令和８年度） 作付面積 100a 土壌分析実施面積 100a 菜豆収量 180kg/10a
4	てん菜、澱粉原料用馬鈴しょ	収量向上支援	作付面積 土壌分析実施面積 てん菜収量 澱粉原料用馬鈴しょ収量	（令和７年度） 作付面積 594a 土壌分析実施面積 594a てん菜収量 4,384kg/10a 澱粉原料用馬鈴しょ収量 － kg/10a	（令和８年度） 作付面積 500a 土壌分析実施面積 500a てん菜収量 6,000kg/10a 澱粉原料用馬鈴しょ収量 3,800kg/10a
5	小豆	収量向上支援	作付面積 土壌分析実施面積 小豆収量	（令和７年度） 作付面積 661a 土壌分析実施面積 661a 小豆収量 197kg/10a	（令和８年度） 作付面積 80a 土壌分析実施面積 80a 小豆収量 225kg/10a
6	野菜（別紙参照）	収量向上支援	作付面積 土壌分析実施面積 加工用馬鈴しょ収量 食用馬鈴しょ収量 スイートコーン収量	（令和７年度） 作付面積 117a 土壌分析実施面積 117a 加工用馬鈴しょ収量 － kg/10a スイートコーン収量 530kg/10a	（令和８年度） 作付面積 340a 土壌分析実施面積 340a 加工用馬鈴しょ収量 3,450kg/10a スイートコーン収量 1,200kg/10a
7	飼料作物（飼料用米、ＷＣＳ用稲を除く）	飼料作物団地化助成	飼料作物作付面積 飼料作物団地化面積	（令和７年度） 飼料作物作付面積 2,784a 飼料作物団地化面積 2,467a	（令和８年度） 飼料作物作付面積 2,613a 飼料作物団地化面積 1,782a

※必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

#REF!

協議会名：

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	収量向上支援	1	8,800	麦、大豆類（黒大豆含む）	湿害対策、土壌分析の実施
2	飼料作物作付支援	1	5,600	飼料作物（飼料用米、WCS用稲を除く）	湿害対策
3	収量向上支援	1	33,100	菜豆類	湿害対策、土壌分析の実施
4	収量向上支援	1	36,300	てん菜、澱粉原料用馬鈴しょ	湿害対策、土壌分析の実施
5	収量向上支援	1	37,100	小豆	湿害対策、土壌分析の実施
6	収量向上支援	1	33,100	野菜（別紙参照）	湿害対策、土壌分析の実施
7	飼料作物団地化助成	1	4,000	飼料作物（飼料用米、WCS用稲を除く）	団地化

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。